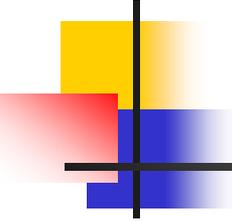


大阪府におけるキャリア教育

大阪府教育センター

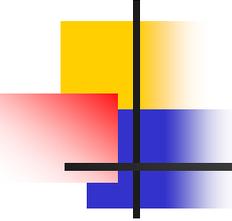
カリキュラム研究室

稲葉 剛



私の場合

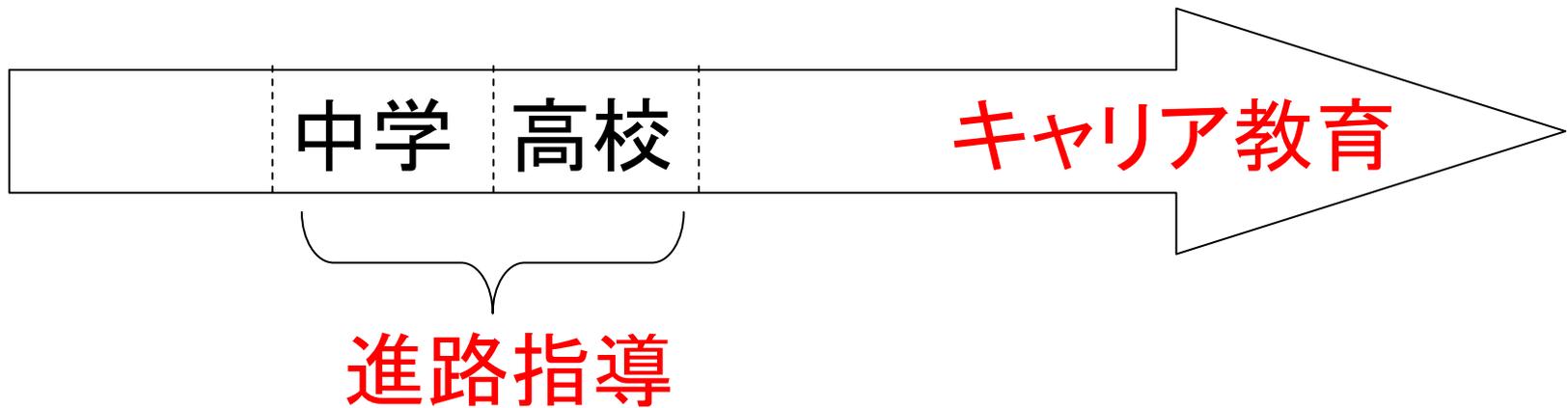
- 再編整備校での特色づくりの一環として
- キャリア教育の充実を
- しかし...
 - キャリア教育に対する知識不足
 - コーディネーターの不在
 - 多忙さ等

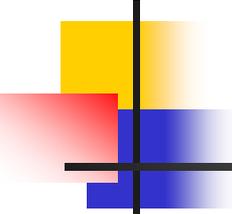


第1回～第3回までの研修の振り返り

- ・キャリア教育の指導者に必要な力
 - (1) キャリア教育に関する知識
 - (2) コミュニケーション能力
 - (3) 組織をまとめる力

従来の進路指導との違い(1)





従来の進路指導との違い(2)

- ・キャリア教育とは？

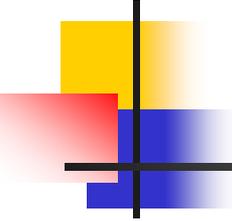
児童生徒にとって、「仕事」は「学ぶ」こと、学校は「社会」



学校で学ぶことが生き活きとできるようにする



将来、社会的に自立できるようにするための土台を作ること



キャリア教育とは？

「社会的自立に向けて、児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・能力を育てる教育」

（「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」平成16年1月28日）

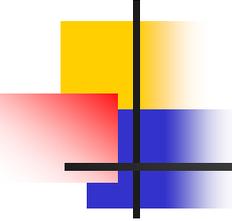


単に進学先・就職先を決めるのではなく、その後の生き方を含めて支援する。



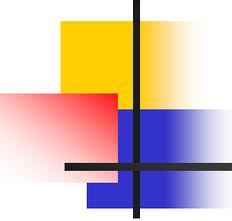
キャリア教育の2つの機能

- ①生活と社会をつなぐ
- ②現在と将来をつなぐ



キャリア教育を推進するための両輪

- ・キャリア発達を支援する**プログラム**
- ・個別にキャリア発達を支援するかかわり
→ **キャリア・カウンセリング**



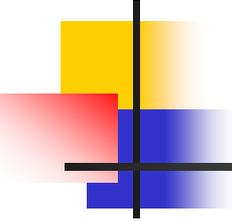
5つのCo

(1) 個別支援

コミュニケーション、カウンセリング

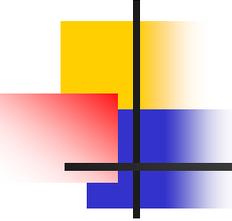
(2) チーム支援

コーディネーション、コンサルテーション、
コラボレーション



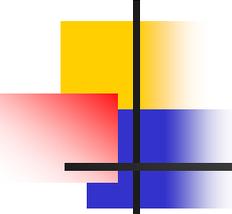
コミュニケーションのワーク

- ・今から〇〇年前、高校生の時に、就きたいと思っていた職業
- ・その理由



大阪府におけるキャリア教育の課題

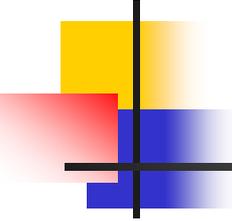
- (1) 学校や家庭・地域社会におけるキャリア教育に対する
共通理解の欠如
- (2) 目的やねらいが明確でない。
- (3) 各校種段階を通して取組に一貫性・系統性がない。
- (4) 職場体験等の受け入れ先の確保が難しい。



大阪府におけるキャリア教育 指針「キャリア教育を推進するために」

3つの基本方向

- (1) 小学校段階から高等学校段階まで一貫した系統的・継続的なキャリア教育を推進する。
- (2) 学校の進路ガイダンス機能を充実して、子どもたちに対して適切なガイダンスを実施する。
- (3) 学校、家庭、地域社会、企業などがキャリア教育の有用性を共に理解し、社会全体で子どもたちを育てる機運の醸成を図る。



大阪府におけるキャリア教育 9つの推進方策

- ①基礎基本の学習の徹底と「能力・態度」の育成
- ②小・中・高等学校の連携による一貫した進路指導の充実と改善
- ③将来の職業像を見すえた学習の意義づけ
- ④社会や経済の仕組みなどについての現実的理解の促進
- ⑤自立意識の涵養と豊かな人間性の育成
- ⑥学校教育活動全体を通じた取組の推進
- ⑦教職員の理解と実践の促進
- ⑧保護者などの共通理解、協力の推進
- ⑨企業や関係機関などとの連携

大阪府におけるキャリア教育の取組 中学校「職場体験の実施状況」

「平成20年度中学校職場実施状況等調べ(国・公・私立及び株式会社立中学校)」より

・ 実施率 96.6%

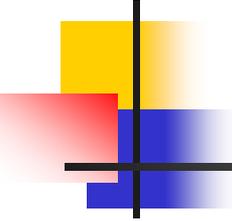
(学校数291校のうち実施学校数281校)

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	合計
1年生	0校	0校	0校	0校	0校	0校	0校
2年生	19校	145校	100校	4校	8校	0校	276校
3年生	2校	2校	1校	0校	0校	0校	5校
小計	21校	147校	101校	4校	8校	0校	281校

大阪府におけるキャリア教育の取組 職場体験の教育課程等への位置付けの状況等

「平成20年度中学校職場実施状況等調べ(国・公・私立及び株式会社立中学校)」より

教育課程等への位置付け		原則として当該学年の全員参加	選択・希望者等当該学年の一部の生徒が参加
①特別活動で実施	27校	27校	0校
②総合的な学習の時間で実施	286校	286校	0校
③教科の授業で実施	4校	3校	1校
④教育課程には位置付けずに実施	0校	0校	0校



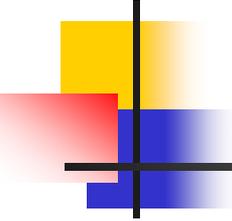
高等学校(公立・全日制)におけるインターンシップ の実施状況

(%)

(年度)	平成13	14	15	16	17	18	19
職業関係学科における実施率	67.8	74.1	79.9	81.2	82.5	81.5	89.3
職業関係学科における体験者数の割合	28.8	38.5	45.6	50	57.4	58	60.1
普通科における実施率	21.7	32	36.9	45.1	50.2	56.5	59.4
普通科における体験者数の割合	3.5	5.5	6.7	8.9	12.4	14.1	14.9

(注)3年間を通して1回でも体験した3年生の数を体験者数として、3年生全体に占める割合を推計。

資料:国立教育政策研究所生徒指導研究センター

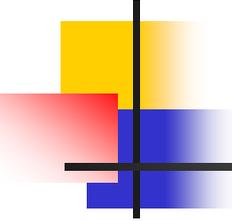


大阪府におけるキャリア教育の取組

キャリア教育推進のための持続可能な活動・体制の確立

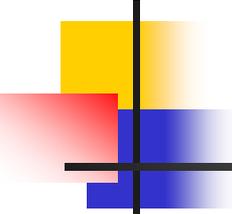
現場のニーズの高い支援活動

- ・社会人講師の紹介
- ・インターンシップ受入れ先の拡充
- ・キャリア教育プログラム・教材の提供
- ・大阪府キャリアアドバイザー配置事業での成果の活用
- ・関係機関の参画意識の向上



プログラムづくりについて(1)

- (1) 教科・科目を通じたキャリア教育をどう進めるか。
- (2) 現在行っている教育活動を、キャリア教育の視点で見直すことが大切。



プログラムづくりについて(2)

1. 課題の認識
2. ねらいの明確化
3. 目的をしっかりと伝える
4. 地域を大切にする
5. 指導と評価の一体化
6. 先生も楽しむ